

御所市の公共交通再編の基本計画（案）

1.1.1. 公共交通再編の基本計画（案）

公共交通の基本方針では、市北部は、輸送密度が高いコミュニティバスを運行し、移動時間の短縮や運行本数の増加に対応した利便性の高いものに再編する。また、市南部は、少ない需要に応じた輸送密度がコンパクトで利便性の高い停留所方式の運行形態となるデマンド交通を導入する必要があるとした。

この基本方針を踏まえ、公共交通再編の基本計画（案）を以下に示す。

(1) 公共交通再編の基本計画の概要

公共交通再編の基本計画の概要を、以下に示す。

■コミュニティバス及びデマンド交通の概要

項目	内 容	
	市北部	市南部
概要	現在のコミュニティバスの車両を活用し、運行ルートは、市北部の現在のコミュニティバスのバス停を結ぶルートとする。	市南部について、バス停とバス停を繋ぐデマンド交通で運行する。
運行形態	定時定路線（現在のコミュニティバスの運行形態と同じ）	予約制デマンド交通
運行区域	市北部	市南部、市北部の主要施設（市役所、近鉄御所駅、スーパー、病院等）
利用対象者	主に市民（利用制限はなし）	市南部の市民（事前利用登録必要）
車両	小型バス（車両延長 7m 以下） ※現在のコミュニティバスと同じ車両	セダン型タクシー
運賃	有料	有料
備考		「かもきみの湯」と「吉野口駅」を起点に、近鉄御所駅までコミュニティバスの朝便を運行する。

(2) 再編にあたっての留意事項

ア コミュニティバス（市北部）

①運行範囲

- ・コミュニティバスのネットワーク（運行範囲）については、市内で、市北部運行を基本とする。

②ルート設定の考え方

- ・ルートは、市北部の現在のコミュニティバスのバス停を結ぶルートとする。
- ・なお、現在のコミュニティバスの利用状況から、朝の1便目に市内を周遊して9時過ぎに近鉄御所駅で降りる方が多いことから、その方の利便性の低下を防ぐ目的で、朝の1便目だけ、南部（かもきみの湯、吉野口駅）から近鉄御所駅まで運行する。
- ・運行時間は、現在の1便あたり約1時間30分程度かかっているため、1時間を切る時間で運行する。

③起点・終点及び始発・終発

- ・起点・終点については、市の主要施設（鉄道駅、スーパー、病院等）が多く集積し、現在のコミュニティバスの利用者の乗り降りが多い「近鉄御所駅」とする。
- ・始発・終発については、現在のコミュニティバスの運行時間（8時台～19時台）とする。

④バス停位置

- ・現在のコミュニティバスのバス停としてのサービス水準を維持する観点から、現在の市北部（国道309号以北）のコミュニティバスのバス停には、基本的に停車する。

⑤運行台数

- ・運行台数は、運行本数を増加して利用者の利便性向上を図るため、2台とする。

⑥料金

- ・利用者ニーズ等を踏まえ、総合的な観点から200円とする。
※利用者ニーズ：「御所市の公共交通に関する住民アンケート調査（平成30年8月実施）」の中で、「市内の公共交通が利用しやすくなった場合、支払って良い片道料金」の質問に対する回答
 - ・100円程度 30.8%
 - ・200円程度 33.8%
 - ・300円程度 14.8%

イ デマンド交通（市南部）

①運行範囲

- ・運行範囲については、市内で、市南部運行を基本とする。

②必要想定台数

- ・他自治体でのデマンド交通の利用状況、市南部のコミュニティバスの利用状況や高齢者人口等を踏まえ、必要台数は2台程度とする。

③始発・終発

- ・始発・終発については、既存のタクシー事業への影響を抑制するため、午前8時～午後5時とする。

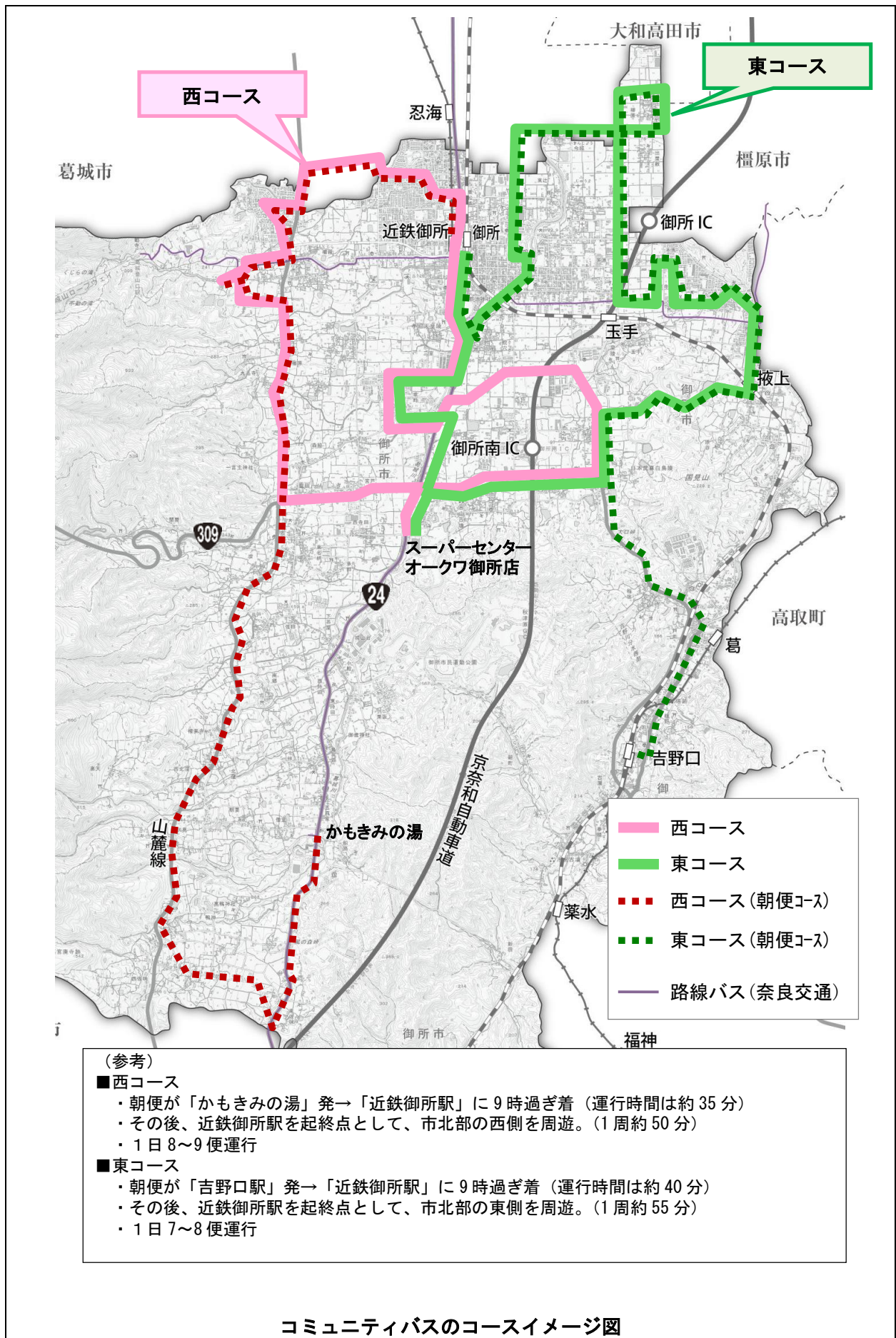
④乗降場所

- ・自宅付近の「バス停（現在のコミュニティバスのバス停）」から、目的地の「バス停」間を運行する。
 - ・自宅付近：現在のコミュニティバスのバス停
 - ・目的地：市が設定した目的地（公共施設、鉄道駅、商業施設、病院等）のバス停

⑤料金

- ・サービス内容やコミュニティバスの新たな料金（200円）、既存の公共交通の料金（路線バス、タクシー）等を踏まえ、総合的な観点から1人1乗車500円とする。
- ・なお、高齢者の負担を軽減するため、70歳以上は1人1乗車300円とする。

■コミュニティバス再編のルートイメージ



■ デマンド交通の運行イメージ

